

ふれあいと語らいの同窓会



# 東実同窓会報 NO.11

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL. 03-3732-4481 東京実業高校同窓会編集委員

## 2000年おめでとう

### ふれ合いと語らいで



会長 第23期卒 山本 徳太郎

日本経済の流れのなかで1992年から継続的な不況感が長期に感じられたなかで1999年の復活の期待を背負いつつでしたが裏切られました。

経済の流れのなかで資産デフレ時代・雇用不安・消費下降・設備投資の圧縮・労働の質の変化・収入の下降など、きびしい環境下において政府主導の政策のもとでの株価の上昇で少しは安定しつつあり、また世界中で心配したコンピューターの切り換えも無事でなによりでした。

教育問題の大切さは将来の国づくりの基本として社会全体で考えなければなりません。社会の未来を考えると、わが母校東京実業高校において女子教育の大切さ

に視点を向け充実を図るための努力の結果、平成13年度より女子教育の復活設置の決定をして教育の質を高めて校史の新しい流れをつくる訳であります。

その新しい流れで観光・通信情報の革命など、インターネットの利用は今後3カ年後には日本社会は申すにはおおよそ世界に広がる大きな課題であります。パソコン利用、デジタル、ケイタイの利用など、意識すべきことです。

さて本年も同窓会会員の皆様、役員の方がたと共に心豊かに「ふれ合いと語らいの同窓会」として進めて行きたいと思います。東京実業高校のますますの発展と会員の皆様の御健勝を祈念しつつこの一年私は「和顔愛語」の精神で貫いてゆく所存です。



平成11年度 東京実業高等学校 同窓会定期総会 (16期～40期)



平成11年度 東京実業高等学校 同窓会定期総会 (41期～69期)

東京実業高校同窓会  
〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1  
TEL. 03-3732-4481

## ミレニアムを 目前にして

### 地球を見つめ、福祉も不可欠

1900年の最後の年、世紀末といわれ、7のつく月日に何かが起こると大騒ぎをし、不安がらせていた月日もいつのまにか何事もなく過ぎてゆき、大した事もないままにこの年も終るであろうと思います。

しかし、ここ数年の出来事を思い出す時、それはまさに世紀末としかいい様のない事が次々と起こってありました。オウム的事件は、今迄日本人が出会った事もないような恐ろしい事件でしたし、それは今だに解決をみないまま、おそらくは21世紀にまで続いていく事でしょう。その後、学校の正門に頭部を置いた殺人事件の被告「酒鬼薔薇」は、それが少年だっただけに、私共大人達は、その大胆な犯行に心底恐怖を感じたものでした。その後の新聞報道を毎朝開けてみても、どこかで死体が発見されたというニュースが無い事がない程、連日のように報道されています。

そして1999年も終わろうとしている11月半ばになって、今後は「ライフ・スペース」という団体の存在が、クローズアップされました。ニュースを聞く限り、ふざけているとしか思えない言動を、大真面目な顔で発言する集団の無気味さを感じます。

自然界では、種の保存の原理が厳然として存在し、各々子孫を残す為に、いろいろな能力を神から授かっていて、それに従って適当に生き残っていく法則があります。人間は、この20世紀に入り、それ迄の時代に比べて、大変な発展を遂げてきました。文化、文明



理事長 上野 雅子

もそうですが医学界における発展は、それ迄だったら死んでいたであろう人間も命拾い出来るようになりました。その結果、この地球全体には、許容量よりもずっと多い人間が暮らすようになり、自然界の破壊も人間の手で大量に行われてきました。21世紀には、食糧難の時代がやってくるであろう、エネルギー資源も不足するであろう等々、負の事柄があまりにも多すぎて、これからの時代を担う若者達を不憫に思うのは、私だけでしょうか？

人間が傲慢になり過ぎて、自身を省みない事のないよう、常に己を律し、人間も又この自然界で生かされている動物の1つなのだという事を忘れて生きていきたいものだと思います。

“小さきは小さきままに 折れたるは折れたるままに  
コスモスの花咲く”

この句は、私が尊敬する、「しいのみ学園」の園長、昇地三郎先生の句です。御自分の御子息二人共、小児マヒとなり、大変な御苦勞をなさって身体障害の子供達の施設を創立なさった方です。90才を過ぎた今でも、お元気で御自分の信じる道を歩んでおられます。

私達の知らない、日の当たらない多くの場所で、人知れず、すばらしい生き方をなさっている方々を、見聞きする時、自分の生き方を又、見つめなおして、心新たに頑張らなければと思う日々です。

## オーダーメイド専門

企画から製品まで(多少なりとも製作します)  
ファイル・バインダー・表示板・掲示板・黒板・ディスプレイ  
紙・ビニール・プラスチック・金属・ゴム・繊維・木製品 その他  
米軍、銀行、航空、船舶、外国商社等納入

企画・製作

株式会社 伊藤商店 ☎(03)3241-1496・1497  
東京都中央区日本橋本石町4-2-2

第18期卒 伊藤 勝啓

酒類のことなら何でも相談承ります

## 酒の 旭 屋

東京都大田区西蒲田7-49-10

☎(03)731-7111 (代)

第34期卒 瀬戸 秀彦

# 教育改革の中身

学校長 上野 毅



同窓生の皆様、2000年お目出とうございます。千年に一度のミレニアムを皆様と共に迎えました事は大きな喜びであります。卒業されて……うん年、うん拾年、学校を離れますと、教育についての情報が入りにくくなりますので、前号に引き続き現在の日本の教育改革の進捗状況をお知らせいたしたいとペンを取りました。

第二次世界大戦の敗戦後、目まぐるしい我国の経済成長の中で高学歴社会の風潮が起きると、受験戦争に勝ちのこる為の、つめこみ教育が行われ、小学校、中学校、高校といった各学校の教育目的を失って行ったわけでありました。と同時に科学技術の発達と共に、学校で勉強する知識の範囲もどんどん膨らんで大学から高校へ、高校から中学へ、中学から小学校へと、下へ下へとむずかしい内容のものが降りて行ったわけでありました。以上の歴史的経過の反省に立って明治維新以来3度目と言われている教育改革の内容が1998年6月に教科審議会から以下の様に発表されたのである。これは2002年公立の学校で（東実は2001年から）スタートする学校生徒週5日制に伴って学校での勉強時間を減らして「ゆとり」を作ろうと言う事と、まる暗記主義でない、自ら考える事が出来る力、あるいは自分の意見をきちっと発表出来る力、等々、今まで日本人に一番欠けている力を付けさせようと、教科の内容を精選して、内容の盛り沢山を整理しようとしたものであります。以下に示します。

**改善のねらい** 小、中、高校全てに言える事です、

- (A)豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成する。
- (B)自ら学び、自ら考える力を育成する。
- (C)ゆとりある活動を展開する中で、基礎、基本の確実な定着をはかり、個性を生かす教育をする。
- (D)各学校が創意工夫を生かし、特色ある教育、学校づくりを進める。

学習指導要領では、目標や内容を複数学年まとめて示したり弾力化して、学校裁量が増えて、大変良いと思います。又、上記した様な事を具現化する為の新しい科目として、総合学習の時間というものを新しく作りました。

**総合学習の時間**とは、例えば理科と社会の時間をくっつけて各学校の創意工夫を生かして、自然環境と人間とのかかわり等、総合的な学習を行う。

**小学校** 今の計画では、このまま現場の声は無視されそう。

文部省

総合学習の時間を新設しその中で特に英語を勉強

各教科の時間数減少

現場の声

小学校では英語より、国語の読み書き、算数の徹底が必要

国語、算数を増加さすべき

**中学校** 今の計画では、このまま現場の声は無視されそう。

文部省

総合学習の時間の新設

英語の必修化

各教科の時間数減少

現場の声

どう指導するか、むずかしいが、いいこと

話せる英語をめざすべき、特にヒアリング

国語、数学の基礎を増加さすべき

**高校**

文部省

総合学習の新設

必修の減と選択教科の増

情報(コンピュータ)の授業を必修

福祉の授業を新設

現場の声

いいこと

いいこと

但し、公立は税金でやるから、やりやすいが私立は経営上限度がある。

いいこと

いいこと

さて、今分数の解からない大学生が生まれて来たと日本の将来を憂えている方もおられる様に明治維新以来、日本の基礎を造ってきた「読み」「書き」「そろばん」今で言う「計算能力」のドリルを徹底してやらなくなって来た結果がこうなったんだと思います。発表された時間割では、全体を同じ率で減らした上に、総合学習の時間を作りましたので、ますますドリルの時間が取られていない状況であります。とりわけ・小・中のこれからの改善が日本の将来に大きく影響を及ぼすという事を述べて私のペンを置く事とします。

## 学校の近況報告

副校長 嘉戸 直民



### ■卒業式と入学式

3月3日(水)、平成10年度の卒業証書授与式が行われた。今年の卒業生は機械科155名、電気科78名、商業科166名、普通科58名の合計457名が晴れの卒業証書を手にし、第74期生として巣立っていった。卒業生の進路は就職125名、専門学校181名、大学77名、予備校38名、家業その他36名である。

4月7日(水)、平成11年度の入学式が行われ、機械科198名、電気科93名、商業科184名、普通科84名の合計559名を新入生として迎えた。

### ■交換留学生来校

6月19日(土)、姉妹校から8名の生徒と引率教員夫妻が来校した。今年はボルダグ地区教育委員会に所属する6校から、男子3名、女子5名が選ばれて来日、日本語での挨拶も立派で、一人一人が日本に対し興味も年々深まっているようだ。また、大田区内の小学校や中学校にも訪問しそれぞれの生徒に深い感動を与えた。

富士登山にも出かけ、今年は好天に恵まれ、日の出を見ることが出来たことは彼等に一番の思い出となったようだ。7月31日、日本の文化や生活の違いを体得し、また多くの友との交わりを心に刻み無事帰国した。

### ■体育祭と東実祭

10月7日(木)、平成11年度体育祭が大井陸上競技場で行われた。当日は朝から雨が降り、開催が心配されたが、開会式を行うときには空も明るくなり、長い時間をかけて準備してきた生徒たちを安心させた。競技が始まる頃には父母席も満員となり、我が子への声援が例年になく大きかった。同窓会からも会長・副会長が駆けつけられ、後輩へ熱い応援を送っていただいた。

11月5日(金)から7日(日)まで東実祭が行われ天候には恵まれなかったが、1500名の入場者を迎え成功裏に終わった。また今年は学校創立77周年に当たりその記

念式典では永年勤続の先生方が学校長より表彰された。勤続30年……中野義久先生、荻野知昭先生、勤続20年……関根章道先生、長谷川浩先生、岡野美知子先生、勤続10年……上野隆三さん。

### ■クラブ活動

#### ●インターハイ出場

陸上部 商業科3年川満雄貴君(円盤投げ)

#### ●ジュニアオリンピック出場

陸上部 機械科1年小佐井秀行君(円盤投げ)

陸上部 商業科1年風見尚君(1500メートル)

#### ●熊本国体出場

陸上部 商業科1年風見尚君(3000メートル)

レスリング部 商業科2年稲葉雅人君

(グレコローマンスタイル83Kg級5位)

●吹奏楽部 全日本マーチングバンド全国大会に於いて銀賞を獲得した。

### ■職員の移動

国語科の教員として田中清江先生を迎えました。

遠藤幸喜先生が定年退職されました。先生は昭和32年に奉職され42年という永い年月体育の指導に当たられた。又この間、昭和39年より東京都高野連の理事という重職につかれ、高校野球の発展に功績を残されました。

スポーツのことなら!

しろかね  
白銀スポーツ

ユニフォーム・スポーツ用具  
用品・施設・工事一般  
カップ・賞品・トロフィー

東京都大田区中央8-29-7  
TEL(03)3754-8679 FAX(03)3754-4845

第37期卒 白銀 正明

## 商業科

### 目まぐるしい社会に対応

平成11年度の東京実業高校全校生は1570名であるが、そのうち商業科の総数は541名で1年は4クラス188名、2年は5クラス197名、3年は4クラス159名で出発しました。教科担当スタッフは次のようになっています。

原田忠彦先生：会計、総合実践、課題研究

有田幹雄先生：プログラミング、国際経済、課題研究

小畑雅一先生：簿記、総合実践、課題研究

小島 茂先生：情報処理、課題研究

淵田和良先生：会計、情報処理、課題研究

山口敏雄先生：マーケティング、課題研究

神谷尚利先生：総合実践、竹中 翠先生：工業簿記

角田 健先生：商業法規、小島 浩先生：計算事務

平田文雄先生：流通経済、忍田栄一先生：簿記

小島健市先生：国際経済、

以上のような教科を配当し、13名の先生方によって、総合実践室、50台設置のパソコン室、ワープロ室等を活用し、創意工夫をこらしながら、指導にあたっております。商業科では簿記検定や珠算検定、をはじめ情報処理検定、コンピュータ利用技術検定などの資格を取得することを奨励しており、授業や講習を通して、

商業科長 山口 敏雄



生徒達は積極的に取り組んでおり、成果を上げています。上級の検定資格を取得した生徒は大学や専門学校の進学にあたっての評価が得られます。

今や国際化、情報化、サービス経済化の進展に伴って、社会、経済活動の面にも急激なスピードで変化が起こっています。大型企業の倒産や金融、証券業界、自動車産業等の生き残りをかけた買収、合併、提携合同再編が行われており、少子化によって生徒が激減している学校教育の現場でも例外ではありません。本校商業科の卒業生の進路についても、大きな変化が見られます。従来、商業科の卒業生の進路は就職が圧倒的に多かったのですが、最近において年ごとに就職の比率が低下し20%弱を推移しており、一方、大学、専門学校への進学が圧倒的に増加しております。このような現況に鑑み、また、2002年からの高等学校学習指導要領の改定と、学校5日制の完全実施することになっていることもあり、本校では、理事会の要請によって、2001年から前倒しで商業科を普通科に併合し、男女共学を実施する方向でカリキュラムや施設設備面の検討を進めております。皆様の協力のもと時代の要請と生徒のニーズにそった教育を目指します。

華燭の典にふさわしい  
優雅さと、なごやかさに包まれて…。

格式が映える伝統の儀式

くらしの友・総合結婚式場  
[ア・ペア]

〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-3-5

☎ 03-3732-4122

お菓子のご用命はアルベリに  
和洋菓子、クッキー、焼菓子、ギフトetc  
まごころこめてお届けします。

株式会社 アルベリ

〒230-0062

横浜市鶴見区豊岡町7番14号

TEL : 045-581-5441

FAX : 045-573-6116

# 機 械 科

## 検定一年生に期待

同窓生のみなさん、こんにちは。

今年度も機械科新入生199名を迎え、教員一同張り切って居ります。各学年の担任は1年生A組栗原宣雄(機械)、B組藤田稔(機械)、C組村山隆(機械)、D組千田一雄(機械)、2年生A組佐藤卓司(機械)、B組日比野重光(理科)、C組村上信人(機械)、D組横田正明(国語)、3年生A組金子健一(機械)、B組青木英二(数学)、C組河野年光(機械)、D組井上昭(体育)の各先生方です。

今年は1年生で計算技術検定の4級と3級を受験させます。例年ですと3級は2年生で受験させていましたが、4級の合格率が良かった点と指導している先生の手応えがあったため、思い切って1年生で受験させてみました。結果は未だ出ていませんが、期待しております。2年生ではガス溶接、アーク溶接、1t未満移動式クレーン、玉掛け、有機溶剤、特定化学物質取扱等の技術講習を積極的に受講させています。

実習内容は1年生で機械、溶接、ワイヤ放電加工機、電子工作、2年生で機械、材料、流体、パソコン、3年生では選択実習で応用工作、材料、CAD、マシ



機械科長 増田 修一

ングセンタの4部門より2部門を、課題研究で計測、ロボット、NC旋盤、パソコンを行っております。

また今年は9月に機械科としてははじめての体験入学を行いました。授業内容は「マシニングセンターによるネームプレートの製作」というテーマでアルミニウムの板に参加者各自の名前をローマ字で刻印し、記念として持ち帰ってもらいました。参加した生徒たちは、はじめて見る大きな機械とそれを動かして物を作ってゆくのを見て感動している様子でした。

その後中学校の先生から体験入学した生徒が本校機械科を希望しているという話を聞き、教員一同、とてもうれしく思っています。このネームプレートは東実祭の機械科展でも行い、一般の見学者の希望者に差し上げ、とても喜んでもらいました。機械科としては、3年間で「もの作り」の学習といろいろなクラブ活動等を通して自分が本当にやりたいことを生徒1人1人が見い出してもらえれば成功と思っております。

これからも同窓生、同窓会の御協力をよろしく願ひ申し上げます。

### 写真撮影・印刷

入学案内・ポスター・卒業アルバム

東京写真工芸株式会社

TEL.03-3303-3333

東京都世田谷区船橋 6-1-2

明るい21世紀を目標に

### 竹内運輸工業株式会社

代表取締役社長 竹内 喜代司

〒181-0013 三鷹市下連雀8-3-16

TEL.0422-44-8264 FAX.0422-44-8771

第18期卒 竹内 喜代司

### めっき材料総合商社

## 株式会社 三 松

本 社 東京都大田区西蒲田7-57-11

〒144-0051 TEL.(03)3733-7131 (代)

営業所 藤沢市辻堂西海岸2-14-45

〒251-0047 TEL.(0466)34-1711 (代)

第17期卒 村松 演代

### 学園祭、音楽会、総合印刷

## シンセイ印刷株式会社

〒142-0052 東京都品川区東中延2-4-2

山本ビル1F

電 話03(3784)3565 (代) F A X 03(3784)3567

# 電 気 科

## ⊕ 五日制でやり繰りの必要 ⊕



電気科長 佐藤 節夫

毎年電気科の重なる講習会の中で、第二種電気工事士がありますが、今年度は7月25日全国で一斉に実施され、結果発表が9月8日にありました。

本校生は17名受験し、10名合格、合格率58.8%で、全国平均は33.5%で、今年の問題は例年より難解だったようです。受験者諸君の頑張りを期待するところです。来年度の試験実施の日程も決定しておりますので、今年度失敗した人、来年挑戦する生徒に、今から準備に入るよう指導しているところです。電気科でも2年生を中心に、1月下旬ごろから、筆記試験の講習会を開催する予定です。受講者は必ず合格するんだという意気込みで取り組んでほしいものです。

いよいよ本校も、五日制の導入、学習指導要領の改訂をにらみ、学内でシフト委員会を作り将来へ向け、学内の見直し、改革、改善等を色々な形で検討中です。

まず入試の改善で機械科(平成12年度3クラス)、電気科をつくり募集にする案をはじめ、五日制への移行措置(平成13年4月から実施予定)をどうするのか。電検との関係で、電気科の専門単位を減らすことがどこまでできるのか、なかなか難しい問題が山積みになっております。電気科では現在、原則履修科目は「工業基礎」、「実習」、「製図」、「工業数理」、「情報技術基礎」、「課題研究」の6科目から「工業技術基礎」、「課題研究」の2科目になります。単位に余裕があれば、国際化への対応

に「工業英語」の内容に、技術英語を用いた簡単な会話、情報通信を利用したより実際的な能力を高める内容になった「工業技術英語」の導入、また今度、「電力技術」に「電力応用」の内容を統合。「工業基礎」は改まり、「工業技術基礎」と名称も改まり、電気科に必要な職業観、勤労観を体得させ、実践的な技術能力を身に付けさせることを目指したものとする様検討中です。

また新学習指導要領では、「工業に関する各学科においては、「工業技術基礎」及び「課題研究」を原則履修する科目に配当することになっている。専門教科の配当時間の半分以上を実習、実験にあて、物作りや、実験、体験を通じた経験を実践することを柱とする教育を主眼とした内容に本校も持つて行くことが大切な時代と考えます。

「地域や産業界との連携を図り就業体験を積極的に取り入れるとともに、社会人講師を積極的に活用するなど工夫に努めること」と言う昨年理産審答申で強調されたインターンシップを具体化することは必要ですが、積極的な取り組みの必要性は考えますが、本校の現状を考えると、現在のところなかなか難しい一面であります。一步一步地についた活動が望まれるところです。

本校電気科も社会のニーズにマッチした教育内容にできるだけ近づける様、現在も努力中です。

## アイ通信工事株式会社

代表取締役 **市川 達雄**  
(柔道部)

〒211-0037 川崎市中原区井田三寿町17番55号  
電話 044-798-3201  
FAX 044-798-3203

第41期卒 市川 達雄

木造住宅耐震補強工事  
建築・土木防水工事  
リフォーム工事

**渡辺商会** 知事許可  
(般-9)第5472号

**渡邊 正信**

2級建築施工管理技士

〒235-0023 横浜市中区磯子区森6丁目11番20号  
TEL.(045)761-3010(代) FAX(045)761-9570

第37回専門学校卒 渡邊 正信

## 普通科

### 五日制と女子部発足の対応

普通科長 知念 義裕



西暦2000年！我が母校は創立78年を、又、普通科が設置されてから24年目を迎えることになりました。

現在、日本社会では21世紀に向け、さまざまな分野で大改革が推し進められています。無論、学校教育もその例外ではありません。政府が1997年に掲げた6大改革の一つである、教育改革が本年度より移行措置に入ります。

新指導要領では、完全学校5日制、複数の科目から生徒が自由に選択できるという「選択必修」の単位数の大幅な拡大等がその骨子としてあげられています。また、普通科においては「情報」、「総合的な学習の時間」＝総合学習が新設・必修となって登場します。「総合学習」とは国際理解、福祉・健康など総合的な課題についての学習のほか、自己のあり方生き方や進路について考察する学習活動を行うという特徴があります。以上のことが2003年から完全実施となるスケジュールであります。明治初期の学制発布、戦後の新教育改革、そして今回の改革が第三次改革と呼ばれるほどの大変革期だといわれています。

本校でもこれらの事を2カ年にわたり、さまざまな角度から細部にわたり検討がなされています。さらに、「普通科」の女子の募集・受け入れ等が加われば、まさに「東実ビッグバン」の様相であります。東実の各科が、また、普通科がどう変革されていくのか、今後、更に深く検討が重ねられますが、新年度明けには校長先生から発表される予定ですのでご期待ください。

さて、平成11年度の普通科生の活動状況についてご報告致します。昨年も電気科の先生方のご指導・ご協力で電気工事士（国家試験）に合格者3名が普通科生からでしたが、今年も2年生から1名合格をしております。定着した感があります。

3年生の進路状況ですが、平成11年12月現在では（在籍97名中）就職内定者2名、専門学校合格者16名、大学推薦合格者23名となっております。近年、大学推薦入学者と一般合格者がほぼ同数で推移しているのですが、3年生諸君には是非これを上回る成績を期待したいものです。普通科としての報告は紙面の関係上この辺りで終えさせていただきます。



1ch「思い出のメロディー」

東京実業高校フェニックスレチメント



# 同窓会近況報告

〈総会資料抜粋〉

## 平成11年度 収支予算書

東京実業高校同窓会  
自 平成11年4月1日  
至 平成12年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	11年度予算	備考	科目	11年度予算	備考
前年度繰入金	4,779,022		事務消耗品費	230,000	
終身会費	4,600,000		通信連絡費	450,000	
寄付金	100,000		印刷費	300,000	
広告費	80,000		会議費	300,000	
総会会費	500,000		総会費	800,000	
旅行会会費	1,000,000		旅行費	1,200,000	
新年会会費	1,000,000		新年会費	1,200,000	
積立金			慶弔費	500,000	
受取利息	978		助成金	500,000	
雑収入			会報発行費	500,000	
			積立金	4,000,000	
			予備費	500,000	
			次年度繰越金	1,580,000	
合計	12,060,000		合計	12,060,000	

## 平成10年度 収支決算書

東京実業高校同窓会  
自 平成10年4月1日  
至 平成11年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	10年度予算	10年度決算	科目	10年度予算	10年度決算
前年度繰入金	1,265,534	1,265,534	事務消耗品費	200,000	207,375
終身会費	4,600,000	4,600,000	通信連絡費	450,000	45,070
寄付金	100,000	190,000	印刷費	300,000	30,000
広告費	60,000	108,000	会議費	200,000	156,078
総会会費	500,000	375,000	総会費	800,000	610,960
旅行会会費	1,200,000	820,000	旅行費	1,400,000	1,086,837
新年会会費	1,000,000	554,000	新年会費	1,200,000	865,446
積立金	0	1,000,000	慶弔費	500,000	※500,364
受取利息	3,000	618	助成金	500,000	95,000
雑収入	0	30,000	会報発行費	500,000	567,000
			積立金	2,000,000	0
			予備費	500,000	0
			次年度繰越金	178,534	4,779,022
合計	8,728,534	8,943,152	合計	8,728,534	8,943,152

### 平成11年度 同窓会事業計画

#### 総務委員会

- ・ 常任幹事会開催の準備等
- ・ 各卒業の幹事へ同窓会参加への強化
- ・ 総会 平成11年6月11日(金) pm6:00~
- ・ 会報誌発行 (11号 平成12年1月発行予定)
- ・ 当会に必要と思われる会、行事への参加

総会、懇親会 平成11年6月11日(金) pm6:00~8:30

蒲田 ア・ペア 懇親会費 ¥5,000-

#### 事業委員会

- ・ 旅行会 平成11年9月11日(土) ~12日(日) 一泊 奥飛騨方面  
会費 男 ¥30,000- 女・65才以上 ¥28,000-  
バス一台の人数を予定。
- ・ 東実祭 平成11年11月5日(金) ~7日(日) 一般公開6~7日  
校章入りドラ焼きの販売予定
- ・ 新年会 平成12年1月22日(土) 予定、会費未定。
- ・ 他の事業に関すること (周年行事等)

#### 運営委員会

- ・ 会費 [総括]
- ・ 予算
- ・ 会則に関する事

#### 組織委員会

- ・ 名簿の整理 (新年会、旅行会、総会、懇親会、等)

#### <定期総会>

平成11年度の定期総会は会場の都合により6月11日(金) PM6:00からとあって遠距離の方にとっては出席しにくい時間帯になったようでした。が、校内の先生方は逆に場の近さから多数の出席をいただき、又平成年度卒業生2人出席がありとても賑やかな中、親交を深めました。

いつも感じているものの皆東実を愛し、他に類をみない絆で結ばれていることを実感しています。校歌斉唱の折には学生時代の想いを浮かべ声に張りがあるのを感じ、総会後の懇親会上ではクラス会を催す機会があり、同窓会益々発展。

#### <新年会>

平成11年度同窓会有志による新年会を平成11年1月23日(土) PM6:00より蒲田ア・ペアにて行う。新年会も全員に喜んでもらえるよう毎回会場を変え、1月の第三(土)か第四(土)に行き参りました。担当が見つけて来ては決定しています。

年会に出席される会員の人数は毎年100名をゆうに越す大盛況さです。時にゲームが有、お土産があり、と会場を一つに盛り上げてくれる担当者の苦勞有・・・。

同窓会の行事も多々有りますので、新年会のみ出席される方総会のみ出席される方等々ですが、やはり新

全会員になかなか伝達出来ない現状ですが、楽しく飲んで食べて語らい、次回を約束し、会場を後に・・・感謝。

# 第17回懇親旅行会

第35期卒 河西 八重子



9月11日(土)、12日(日) 毎年恒例である、東京実業高校同窓会懇親旅行奥飛騨(新平湯温泉)が1泊2日で、行われました。参加者は男女合わせて33名です。

当日は、朝より雨が降っており、足元を心配しつつ学校へ向かいました。行先が遠方のわりには、遅目の出発だったので大渋滞に巻き込まれてしまいましたが、外はいつの間にか天候も回復し、車中も皆さんの若さと、熱気で気温も上昇、幹事さん達の心配りで歌あり、クイズありで、目的地まで9時間と言う長旅でしたが、それも感じさせない程楽しく過し、少々遅れて宿泊地のなかだ屋に到着しました。宴会は田所さんの進行で、理事長、会長の挨拶に続き、村松顧問の日本舞踊と、若手女性のフラダンス、カラオケ等楽しい一時を過しました。二次会はカラオケボックスを貸切り、歌う人、息荒くして卓球(ピンポン?)に競ずる人と夜の更けるのも忘れて賑やかに過し、一日目が終わりました。

二日目は皆さんの思いが通じたのか、晴天で新徳高

ロープウェイに乗る事が出来、標高2,156mの地へと、それはそれは、素晴らしい景色をみて、感動しながら降りてきました。風穴の里で昼食後、松本城、信州味噌工房見学。味噌作りの説明とお味噌汁の試飲が、良かったのかお土産を買い求める人が大勢いました。

全ての行程が終り、バスの中では我が校の大先輩である河井信太郎氏、(注)大正2年愛知県生まれ、昭和8年東京実業卒業、昭和13年司法試験合格、昭和14年海軍応召(北支、アリューシャン、サイパン、ミッドウェー、ソロモンなどを艦船で転戦。海軍主計大尉。造船疑獄、売春汚職、日通事件等々で、地検特捜部長として活躍された方)が日本テレビ知ってるつもり!?に放映されたとの事で、佐々木氏のビデオ解説を聞いたり、プラスバンド部が、NHKに出演したビデオを見たりして時を過しました。学校着が大幅遅れたため帰宅するのに家から迎えに来てもらう人、タクシー合乗りの人等、てんやわんやも楽しい思い出になりました。



## 【東実と河井さん】

千重八 西岡 卒歴26年

相談役（第15回卒） 佐々木 努



去年の8月29日、日本テレビの「知ってるつもり」という番組で「地検特捜部鬼検事」として河井信太郎さんのことが放映された。東京実業の神田の校舎、河井さんの在学中の通信簿などが、チラッと流された。

昭和14年夏、突然、白服の海軍将校が号令台に立たれた。私は2年に在学中だった。5年生の代表は、大声をあげた。「かしらァー右」これが河井さんとの出会いだった。以後卒業までに鷹野先生より数回、河井さんのことを聞かされた。大正2年愛知県に生まれた河井さんは、昭和4年に上京、働きながら東実の二部に入学、以後、中央大学専門部、学部と進み、在学中に高文の司法科に合格、卒業と同時に海軍の主計科に入り軍務につかれた。以後、ミッドウェー、ラバウル等に転戦、昭和17年に除隊され、検察庁に入られた。戦後、主に特捜部に籍をおかれ、昭電事件、造船疑獄、日通事件、武州鉄道事件等大きな疑獄事件に体を張って精励された。

河井さんの考えの中心には、戦争中、戦友が次々と戦死する中、上級将校の不正や料亭通いに我慢ができなかったといわれている。

あまりの辣腕ぶりに恐れをなしたか、上からの圧力で昭和46年、水戸地検へとばされ、以後51年の定年退官まで横浜、広島、大阪と回された。

昭和57年11月、東実創立60周年祝賀会が開かれた。

出席された河井さんに、D大学教授とN公認会計士が喋っていた。三越事件の背任罪のことらしい。

「公認会計士は、何をやっどるかねえ」という言葉が聞こえた。私心がなく正、不正を判断する河井さんの前に公認会計士も顔色がなかった。それから、わずか10日、河井さんは他界された。69歳だった。

河井さんの偉さは、単に日本検察史上に輝くというだけではない。出身校東実を大事にされ、誇りに思っておられたことだ。昭和37年、上野熊蔵校長や、宮野先生の葬儀に、地検特捜部長という超多忙な時間をさいて参列されている。卒業生の中には、東実を馬鹿にしたり、かくしたがる者もいる。しかし私達は、長い伝統と、優秀な先輩をもつことに誇りを感じ、「一流校東京実業」の卒業生として、胸を張って生きてゆきたいと思う。



4ch 「知ってるつもり」

## Books一二三堂

東京実業高校教科書取次店  
蒲田西口アーケード

TEL 3731-5120

印刷物なら、何でもご相談下さい。

株式会社 佐々木印刷所

代表取締役 佐々木 努

東京都大田区多摩川1-18-15  
TEL (03)3758-0710 FAX (03)3758-2821

第15回卒 佐々木 努

## 思うこと

昭和40年に本校に勤務した2年後あたりから、卒業生台帳、優等賞、皆勤賞そして各種の賞状などを手がけることになり、又入学式や卒業式そして入学試験などの看板や表示などを墨書でしたためるようになってから30余年の歳月が流れようとしている。ちょうど今の事務所がある2号館が完成したばかりの新しい会議室を使用して、2月下旬の卒業判定会議が終わってから卒業式までの短期間の集中作業であったが、毎年このことながら順調に作業を進捗させることが出来たように思う。卒業生も昭和50年代後半から60年代前半にかけて700名を越えることもあって、卒業式が近づいたある日など止むを得ず授業を自習にして卒業生台帳や賞状類を整理していると、自習しているはずの教室から2～3人生徒が抜け出して私の仕事ぶりを確認のために現れるという場面もあった事がなつかしく思い出される。

小学校時代から習字や絵画が得意で、各種の展覧会に出品しては賞を頂いたこともあったが、本校に勤務してから大東文化大学の書道講習会に参加して本格的に書を学ぶようになった。好きな書家は中国唐代の歐陽詢（おうようじゅん）や褚遂良（ちょすいりょう）であるが、漢の時代に役所で用いられた「隸書」（れいしよ）も心をなごませる豊かな趣をたたえていて好きである。いずれにしてもこれらの書家の字体を「鏡」

## 伝統行事を大切に活動

5月19日におこなわれた生徒会役員選挙で平成11年度の生徒会会長に当選した電気科2年A組の大山武彦です。昨年は、副会長として一年間、会長の下で経験をつんで、がんばって来た自分が今度は逆に指示をだすほうになり、最初はとまどいました。今年は交換留学で日本に先生を含む10人の留学生が来日しました。

これは昨年にはなかった行事なためすこしあせったところもありましたし、今年は初めての試みで討論会を行おうとしたのですが、結局のところ交流会になってしまいました。

なんとか無事に留学生を楽しませたことはよかったです。そして体育祭では生徒会はもちろんのこと体育祭実行委員会を中心にがんばって成功させました。

そして、東実祭は東実祭実行委員会が中心に取り仕切っ

## ＜教職員＞

社会科 菊地克己



として毎日数時間「まねる」（学ぶ）努力をしないと一流の書家にはなれないとよくいわれたがついに実行に移すことが出来なかった。しかし本校では事あるごとに毛筆を用いる機会にめぐまれ、その都度苦しみながら書体の習熟に専念出来たことについては感謝の意を表したい。

最近パソコンやワープロによって行書体などの活字が生み出されて、実際に手書きの習慣も変わりつつあるが、年賀状なども印刷文字の文面のかたわらに、自筆の挨拶文を添えることによって心のこもったものになるわけであり、「人間」と「人間」の心のふれ合いのためにも肉筆のあり方が見直されている側面も見逃すことが出来ない。

最後になりましたが、35年間にわたり、未熟な私を大きな包容力と温かな眼差しで見守り、育てて下さった理事長、校長先生はじめ教職員の皆様に心からの感謝の念を捧げながら、本校が21世紀に飛躍する「人材の砦」として文武両道を制する新しい学校作りへ向けて、力強い第一歩を踏み出して行かれることを念願して筆を擱きます。



生徒会長 大山武彦

てくれて生徒会の出る幕がないくらいがんばってくれましたが、そのあいだ生徒会は何もしていなかったわけではありません。東実生の意識調査というものを行うその結果や今回生徒会でホームページをつくりその展示などをおこないました。見に来て下さった方は本当にありがとうございました。そして、文化祭などが終わった今こそ本当の活動というものができるようになってきたと思います。今これからがこの生徒会の本当の活動の始まりだと思います。生徒会OBの同窓会も発足してより活発に活動して来ています。先輩がのこして下さった伝統をうけつぎつつも新しいことに挑戦して行き、全校生徒の意見をまとめよりよい学校をめざしてガンバッテいきますので温かいご支援、ご声援の程、是非宜しくお願い致します。

## 東実35年

## —光陰矢の如し—

## 〈教職員〉

社会科 尾藤 勇



東京実業高等学校同窓会の諸兄姉におかれましては、ご健勝にてお過ごしのことゝ存じます。

さて、波乱つづきの20世紀もいつのまにか過去のことゝなり、希望の21世紀を迎え、皆様には益々ご活躍のことお喜び申し上げます。

ところで、私は本年3月末をもちまして65歳の定年を迎え、35年間お世話になりました東京実業高校勤務にひと区切りをつけることとなりました。この間、校長先生をはじめとして、教職員、同窓会、親師会、その他各方面から、ひとかたならぬご援助、ご尽力をいただき、ただただ感謝の極みであります。

この35年間のことを思いますとき、月並みな言葉ではありますが、本当に瞬時のできごとのようで、何か夢の中のことのように思えてまいります。

私が本校に勤務しましたのは昭和40年4月のことですが、当時本校は、体育館と現在の2号館がありましたが、それ以外はいずれも木造だったり、急造の校舎を何度も手直したような建物で、だいぶ見劣りがするような状況でした。しかし、「狭いながらも楽しいわが家」ではありませんが、現在1号館の立っている場所が校庭になっていて、日当たりもよく、先生方でテニスをやったり、野球のシートバッティングなどをしたりして、和気あいあいの学園風景、職場風景がありました。

この本校も、この35年間で大躍進を遂げ、間もなく創立80周年を迎えようとする、押しも押されもしない城南の雄となったことはご存知の通りであります。この間の発展の一翼に名を連らねさせていただけたことを大変光栄に思うしだいですが、何程のお役にたてたのかと悔ゆる思いでいっぱいあります。同窓会の充実・発展もこれと軌を一にしてめざましいものがあり、ご同慶にたえません。

さて、私がちょうど60歳を過ぎた頃、何か自分の記念碑になるようなことを探し求めていた折、同窓会大先輩で、長年同窓会長を歴任された村松濱代氏のご教示をいただき、旧東海道五十三次（全行程492km）の一人徒歩旅行をやることを決意いたしました。予定としては定年までには踏破したいと思っておりましたが、勤務のあいまを縫っての徒歩行でもあり、更に体調不良をおこしたり、さまざまな忙しさにとり紛れて、なかなか思うにまかせず、現在は100キロ余を残しておりますが、こんどは中山道を歩き始めましたので、この両道は草津で合流するので、まとめて、今年中には京の三条大橋に立ちたいと考えておるところであります。

たかが歩くだけのことではありますが、私にとりましては、それは人生の縮図であり、先人のたどった跡を自分もこうして歩いているのだと思うと勇気がわいてくるように思えるのです。旧道ですので、今では荒れはて、道路とは思えないような地形になっていたり、また大都市の町中では、大きなビルにとり囲まれ、旧道はどこか“行方不明”になっていたりしています。天下の嶮で有名な箱根峠では、車道は立派に整備されてはいても、旧道の案内板はお粗末で、何度も道をまちがえてしまうようなありさまでした。こうして忘れられ、失われつつある旧道を、一日平均25kmほどを、6～7時間かけて歩く孤独の一人旅です。（注 最近、旧東海道を見直す東海道路ネッサンス運動が展開中）

しかし、駿河の国、薩埵峠（さった）を春に通った折には、桜の古木に花が咲きこぼれ、眼下には往古、親不知（おやしらず）海岸があったといわれ、真青な駿河の海のむこうに、すくと伸び上がった秀麗富士の美しい姿を見たときには思わず嘆声かき出したものでした。

## 富士ヶ嶺をのぞむ薩埵の山桜

はらはらと散りゆく親不知の海へ

また、何本もの大河を渡らなければなりません、名橋の誉れ高い天龍橋は、人道がなく車道を歩くわけですが、そばを猛スピードでトラックが、地震のごとく橋をゆらせ轟音をとどろかせてすれ違ふときの恐怖は忘れられません。

また、旧道のおもかげ残す石畳の道がところどころのこっているのですが、多くの旅人が踏みしめたであろうこれらの道を、今、自分も歩いているのだと思いつつ、古人に思いをはせながら、ただひたすらに歩きつづける自分は、まさに自己の人生そのものをたどっているのだと思えてくるのです。

## 参勤交代、弥次喜多も、芭蕉も踏みし

石畳 たんぼの花咲きてあり

終わりのない旅という言葉聞いたことがあります、このあと、日本や世界の道をたどって、いけるところまで、自分の足を信じつつ歩きつづけたと考えています。

末筆になりましたが、諸兄姉のご多幸をお祈り申し上げます。

# 思い出のひとこま

第23期卒 塩野 理二



「光陰矢の如し」と言われるが、東実を卒業して半世紀が過ぎ去ったと思うと感無量です。この機会に23期生としての思い出の一こまを記させていただきます。

私達の在学中は、戦時中の国策に従い、「学徒勤労動員」の一員として、軍需工場に通っていたが、そんな中に母校々舎は空襲で焼失した。終戦と同時に、時の校長、上野熊藏先生の下に、学校再建を目指して借り受けた、新潟鉄工所（蒲田駅東口）の焼けた建物の中で授業が再開され、時には鶴ノ木の東京高校の教室を借りるなど、肩身の狭い思いをした。この間、クラスの中に野球好きが多く（小生も）、いち早く野球部を復活して「日本高等学校野球連盟」への加盟をはた

し、夢の中で甲子園を目指した。

上野熊藏先生は、毎日の朝礼で、日本再建の道は、日本が工業国として歩むことである。“君達はその人材の卵である”と力説された。今にして思うと、先生は偉大なる指導者のお一人であったと言える。そんな苦難の道を乗り越えた私達の絆は、今でも太く強く、それ迄は個々の交流であったものを進展させて、平成6年からは毎年同期会を開催している。現山本会長さんをはじめ、小島、宮島元両先生が、常に学校と同期会のパイプ役を努め、ほかにも社会の中で現役（自営業など）として活躍する方々が多く、大変賑やかな23期会が健在である。

## 会員通信欄

第17期	高木 稔	新年会のご案内を賜りありがとうございます。 冬場は群馬県水上町のノルンスキー場に居ります。 ので参加出来ず申し訳ありません。皆様のご多幸ご繁栄 を心より祈念申し上げます。理事長校長先生にもよろしくお伝え下さい。
"	岡田 士郎	旅行の際の写真有難うございました。 今回は丁度所用と重なり出席できません。 皆様によりしく御伝え下さい。
第35期	谷津田士朗	定年を前にして頑張っております。
第38期	飛田 昭	幹事のご苦勞に対し心より感謝申し上げます。 現在座間市議会副議長を勤めていて 週末より県外に団体と方々と出かけてしまいます。
第41期	三浦 信子	せっかくお誘いいただいたのに都合がつかず 大変残念ですが失礼させていただきます。 同期生の皆様によりしくお伝え下さい。
"	中川千寿美	昨年はクラス会の折皆様にはお世話に なりました。ありがとうございます。 役員の皆様の御健康をおいのりします。今回は欠席させていただきます。 (ドラヤキは好評でした)

## 最低の出席10人、難聴か？

### 声大きい16期



第16期卒 青木 茂夫

平成11年6月12日(土)13時、鶴見の翠華楼3F。校長先生の突然の欠は残念でした。事務室の山本先生が連絡に来てくれた。話しによると病状軽度である。目まいがする(メヌエル氏病?)とのこと。いつも出席して下されるのに、中心の無い会となった。病状を心配しながらも時間にスタートした。前日(11日)校長より発表の2001年に共学を実施する。の話しを軸に話しの花が咲いた。産みの苦しみもあろうが男女均等法施行の折り頑張ってください。地元の山本同窓会長より美酒を頂戴し一段と賑やか

になった、紙上をかりて御礼を申し上げます。各人のこの一年と題したスピーチを順次発表しあった。長短はまちまちであったが元気あって結構。この間、倉石カメラマンの活躍は大変なものだった。ご苦労さま。14時半オーダーストップ、次回の会場について意見があったが、宴会時間、値段、内容、距離等を考えるとここしかないとなり一致をみた。会計の報告を16時に終り来年は6月10日(土)13時同場所を確認して終わった。





# 合同クラス会

# 同窓会



第42期卒 和田英一

母校の文化祭に合せ、平成11年11月7日(土)に合同クラス会を学校近くの「ホテルヤマチ」にて午後3時より6時まで行いました。合同とは、我ら42期の機械科C組、花房幹郎先生のクラスと、41期の女子商業科A組、花房悦子先生のクラスで総勢37名が出席しました。今回のクラス会は花房先生と毎年、年賀状を通して今年こそは、クラス会をやりたいと想っていますと、報告をしながら10年ぐらい経ってしまい、この9月11日、12日に同窓会の懇親旅行にたまたま、花房悦子先生が担任だった方と知り合い、今年クラス会を予定している話しをしたところ両先生は今年ともに82歳とのごと、男性だけのクラス会を行うよりいっそ両先生を一緒にお迎えして合同の方が出席者も多いのではないかと話しがまとまり今回の合同クラス会に至りました。

クラス会を開くに当り一人でも多く出席をと住所不明者をパソコンのエンジェルライン (NTTの番号案内)

で、一都六県や山梨県など半分あきらめながら検索したところ、二人見つけることが出来ました。「探してくれてありがとう」と言われたときにはたいへん感激しました。せっかく30数年振りにクラス会で逢う事が出来ました。幹事なので積る話しも出来なくて残念でした。

クラス会会場では食べながら、呑みながら、一人一人先生のそばに行き何十年分の報告をしながら旧友との話し、初対面の41期女子との話しに、お互い50歳を超えての出会いが本当に懐かしく学生時代を想いだし、学生気分に戻り楽しい3時間があっという間に過ぎました。先生と出席者には「同窓会名物ドラ焼」をお土産に、合同クラス会を和気あいあいの内に終了致しました。

二次会でも25名の男女それぞれが楽しく語り合い、歌いあい、途中で41期の女子商業科B組の飛び入りもあり尚一層二次会が盛り上がり、本当に楽しい2時間でした。

## 花房幹郎先生よりのメッセージ

先日のクラス会では和田君に大へんお世話になった事を先ず感謝致します。32年振りに会った人、前二回に出席した人を含めて諸君は50才になる筈、でも顔を見ていると1年生で入学して来て、其の後の3年間の姿が浮かんで来ていろいろと思い出される、夫々の人生自ら切り開いてこられた現在でもまだまだ15年間は働かねば、其の後は余生を楽しもうと云う所かな、両親の有る人、ない人、子供の事等皆幸せである事を祈って又の再会を楽しみにして居ります。

11月29日

○ A 機器、事務用品  
事務器、オフィス家具

### 菊屋浦上商事株式会社

本社 東京都大田区西蒲田 7-32-9  
〒114-0051 TEL. 03-3737-1551 FAX. 03-3737-1558

本店 東京都大田区西蒲田 7-45-8  
〒114-0051 TEL. 03-3737-1550 FAX. 03-3737-1569

神奈川店 神奈川県相模原市相模原 6-26-7  
〒229-0031 TEL. 0427-54-9211 FAX. 0427-54-9051

ツライイ店 東京都大田区西蒲田 7-65-3  
〒114-0051 TEL. 03-3735-3651 FAX 03-3737-1569

### 訃報

株橋武先生が逝去されました。享年84歳でした。先生は昭和39年に奉職され、国語科の教員として教壇に立たれる傍ら、事務所で庶務を担当され昭和61年に退職されました。先生のご冥福をお祈りいたします。

第18期 成川 節男 平成11年9月 日 逝去  
" 森 哲太郎 平成12年1月5日 "

# 事務局だより

卒業生と学校との唯一の機関誌、この「東実同窓会報」は平成2年に誕生し、早や11才になります。東実卒業生約3万人弱。一人でも多くの卒業生に見易く親しまれる会報に、編集部一同張り切っております。

## ●お知らせ●

同窓会では、毎年下記の行事を行っております。

### 記

定期総会決定 平成12年6月3日。蒲田「ア・ベア」  
懇親旅行会予定 毎年9月第二土・日1泊2日のバス旅行  
新年会予定 毎年1月の第四土曜日。一流ホテル  
上記の他に学校行事の体育祭、東実祭にも同窓会として、参加しております。

上記の行事には、どなたでも参加出来ますので、事務局にお申込み下さい。その時期に案内書を送付致します。

## <<<お願い>>>

事務局では毎年の卒業アルバムを揃えておりますが、欠けている年もあります。皆さんの中で、東実の卒業アルバムをご寄付下さる方が居りましたら、事務局宛にご連絡を、お待ちしております。

## ◎ありがとうございます。

昭和8年卒業生下田吉太郎氏が母校を訪問され、学校長と会い、在校当時の昔話し思い出話し（同級生の故河井信太郎（T・V「知ってるつもり」放映）検事長の話等1時間位ゆっくりされ、貴重な卒業アルバムを同窓会に寄付されました。大切に保管し皆様にもお見せ致します。誠に有難うございました。

## トピックス

### ◇再び女子生徒を募集

本校では昭和29年に第1回目の女子生徒を募集。同32年に、同窓会として初の女子同窓生を迎えた。以来昭和57年まで26年間募集を続け同58年より平成12年まで（19年間）女子の募集を停止した。

平成13年度より、女子募集を再開する。学校側は、その準備を着々と進めている。それと同時に、週5日制も実施されるもよう。

### ◇この春（平成12年3月）の退職される方

次の先生方々が停年退職されます。永い間大変ご苦労様でした。

菊地克己先生（社会）・尾藤勇先生（社会）・村田博行先生（実習助手）・大森壽一先生（事務）

## ～平成12年3月卒第75期の新幹事紹介～

平成11年度卒業生の新幹事をご紹介します。

クラス・組	担任	氏名（2名）
機械科A	金子	栗田 晃成・渡辺 翔太
B	青木	○影山 雄一・富田 亮太
C	河野	村上 亮・森川 厚史
D	井上	小原 孝行・菅野 貴博
電気科A	須貝	金沢 潤一・下山 鉄也
B	山下	藤江 一礼・○星 健太
商業科A	小島	飯場 輝樹・佐藤 将也
B	原田	狩野 義久・佐川 邦俊
C	志賀	○大津 雅哉・福菌 貴幸
D	岩田	斎藤 学・田邊 祐介
普通科A	知念	小宮山健司・間 竜二
B	藤吉	菅 元樹・和栗 隆
C	森	森本 勇介・○渡辺 穰

◎=代表幹事長 ○=代表副幹事

以上13クラス26名です。今後は同窓会の幹事としてご協力下さる事を期待致します。

仕事等の都合で、転勤・転居等で幹事役が出来なくなった時は、事務局に直ちにご連絡下さい。

## 編集後記

10年一昔とよく言われますが会報誌も11号の発行となり皆様の温かいご理解、ご協力のもと投稿下さった方広告を下下さった方々に深く々感謝いたしております。

編集にたずさわる人が入替わるのですが苦勞もあり手作りの為、出来上がりが楽しみで頑張っています。

### 発行総務委員（会報担当）

委員長	本田位公子	委員	関根 秀夫
委員	加藤 憲治	協力者	青木 茂夫
"	井上 實	"	和田 英一
"	戸田 三光	事務局	米田 仁昌
"	塩野 理二		